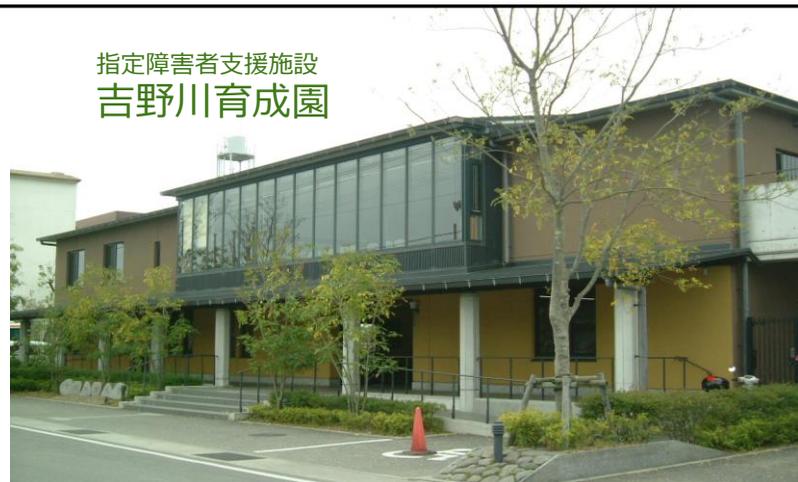


# 感染管理体制の構築

## 吉野川育成園でのゾーニング

吉野川育成園 矢野美香

### 指定障害者支援施設 吉野川育成園



### 吉野川育成園の主な事業

#### 1. 生活介護事業

定員160名（内通所10名） 現在員162名（内通所8名）

##### <生活介護Ⅰ>

- ・ 高齢者支援（からたち寮）
- ・ 重度、自閉症、行動障がい者支援（あじさい寮）

##### <生活介護Ⅱ>

- ・ 中、重度者支援（わかさ寮、ひまわり寮）

#### 2. 施設入所支援事業

定員150名 現在員154名

#### 3. 短期入所事業・日中一時支援事業

定員4名

### 居住環境

#### ホームリビング

各寮に1か所あり憩いの場となっている



居室→  
全室個室です

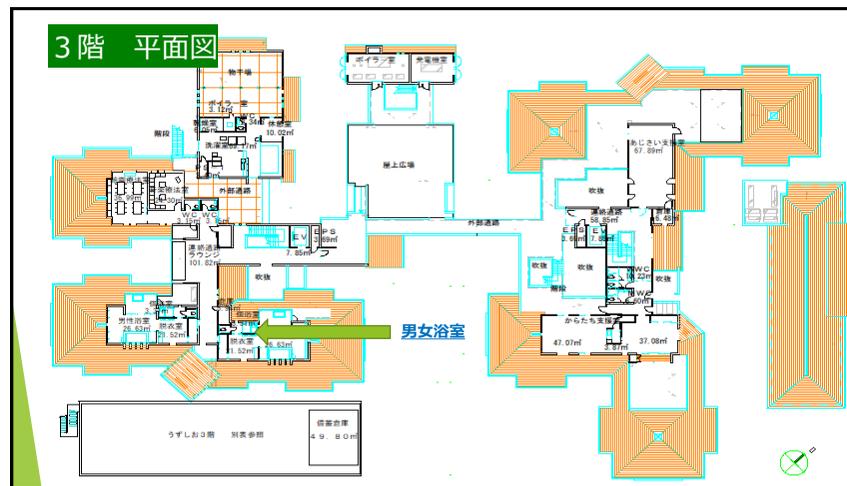
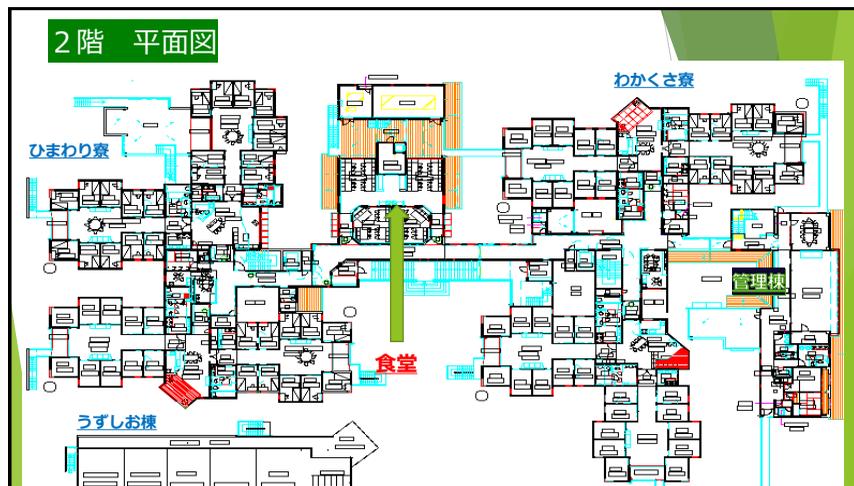


←浴室  
男・女  
2か所あります

食堂  
1階・2階



日課 1日の流れ	6:30	7:30~ 8:30	9:30~ 10:30	10:30~ 11:45	11:45~ 13:15	13:15~ 16:30
	起床 ・着替え ・排泄介助	朝食 ・食事介助	生活支援 ・検温 ・血圧測定 ・洗面 ・口腔ケア ・整理、清掃	日中活動 ・散歩 ・ドライブ ・買い物 ・カラオケ ・軽作業	昼食・休憩 ・食事介助	日中活動 ・入浴 ・散歩 ・ドライブ ・買い物 ・カラオケ ・軽作業
	日の 余暇時間	17:45~ 18:30 夕食 ・食事介助	18:30~ 20:45 余暇時間	20:45~ 21:00 就寝準備 ・排泄介助 ・着替え	22:00~ 6:30 就寝	



## AWAナース 導入・依頼内容

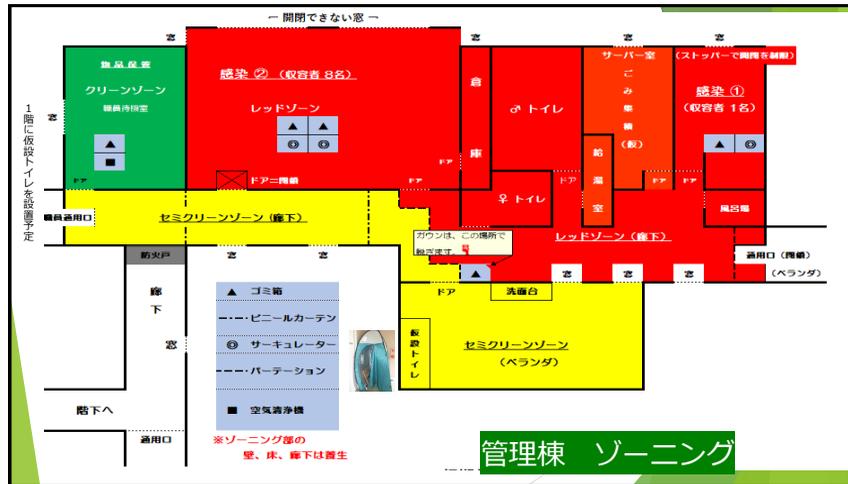
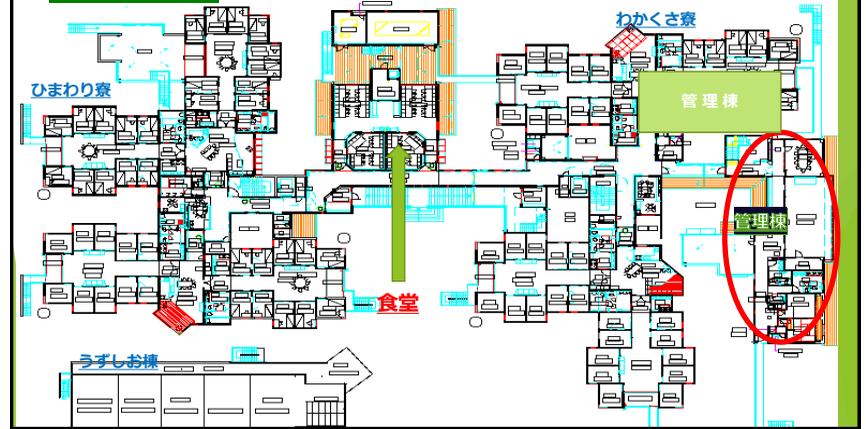
▶ 新型コロナウイルス感染症対応として、当園に於いても施設長を中心にサービス管理責任者、看護師、管理栄養士、総務で検討を進めていました。2月～3月にかけ県からは感染予防について注意喚起があり、当園に於いても、基本的な感染予防対策や必要物品の購入を進めてきました。そこで大きな課題となったのはゾーニングです。障害を持った利用者が感染疑いの時点で感染を広げないためにゾーニングについてアドバイスいただけないか、県看護師協会に相談することになり、AWAナース事業サポートセンターの「感染予防対策」で依頼することになりました。

### AWAナース活用と依頼内容

知的障害者支援施設（施設入所者 154名）での新型コロナウイルス感染症の対応について

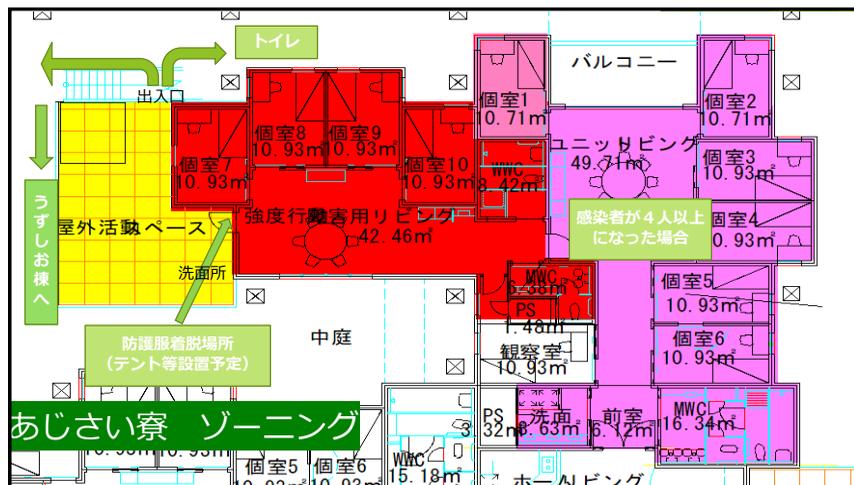
- ・施設のゾーン分けや施設設備の活用・準備について
- ・コロナウイルス感染した場合の対応
- ・職員の体制等

## 2階 平面図



## 建物構造 1階 平面図





## 吉野川育成園の感染対策

- ・利用者・職員・外来者への消毒・検温・健康観察の徹底
- ・基本的な感染対策について、注意喚起を継続
- ・吉育アラートの作成～利用者の帰宅・帰園、通所者の対応、面会、行事等への制限や規制をわかりやすく表にする。社会の動向に合わせて見直し検討を行い、その都度更新（最終更新日10月28日）とくしまアラートの基準に準じて柔軟に改定の検討
- ・コロナ感染者疑いが発生した場合のマニュアル作成（初動対応・食事対応）
- ・職員研修で全職員が看護師の指導によりガウンテクニックの講習
- ・県主催の障がい者福祉施設における新型コロナウイルス感染症クラスター発生対応訓練の会場を提供し、研修に参加

ガウンテクニック講習  
流れを写真で分かりやすく

管理棟でテントを利用した個室化

ブルーシートが落ち着かない！  
工夫が必要

福祉避難所用テントを準備

和室 感染疑い一人の場合

管理棟ベランダ簡易トイレ  
発症者が出た場合は仮設トイレをリース予定

吉育アラート 2020.10.28～

・感染拡大防止の為に、常に体調管理（37.5℃の発熱・体調変化）に注意し行動する。  
・基本的な感染予防の徹底・・・3密（密集/密閉/密接）を避ける・手洗い・消毒・換気

★遵守★実現されるすべての方には、玄関先での体温・体調チェック実施。園内入室の場合は手指消毒の徹底、マスク着用。

	1	2（とくしまアラート）感染懸念	3（とくしまアラート）感染発生
帰宅・帰園 外出	帰宅○ 外出、外食○ 発熱での体調チェック（家族含む） 行動記録を依頼する（記入用紙あり） ※発熱があれば、解熱後2週間は自宅療養とする	帰宅○ 外出や外食は極力控える 帰宅での体調チェック（家族含む） 行動記録を依頼する（記入用紙あり） ※発熱があれば、解熱後2週間は自宅療養とする	帰宅中止で協力依頼 緊急時のみ帰宅する場合は、1週間は帰園しない 外出や外食はしない 家庭での体調チェック（家族含む） 行動記録を依頼する（記入用紙あり） ※発熱があれば、解熱後2週間は自宅療養とする
通所	参観○ 検温、検温、体調チェック実施 発熱時に発熱、体調変化があれば園に電話連絡し 参観しない	参観○ ※受け入れは各室で行う 検温、検温、検温、体調チェック実施 ※発熱に発熱、体調変化があれば園に電話連絡し参観しない	自宅待機、休園要請 （家庭の事情がある場合は、要相談） 検温、検温、検温、体調チェック実施 ※受け入れは非支援者利用（従業員員特定）
面会	面会○（1時間以内） 入室○（1時間以内） 飲食×	面会○（30分以内） 入室○（30分以内） 飲食×	面会○（実接種2週間前 15分以内） 入室× 飲食×
外部関係者 （指導員、保護者、ボランティア、関係者）	3密を避け、実施○	3密を避け、実施○	中止 りモート等を利用する
園内診察	実施	従来通り実施（状況により判断）	従来通り実施（状況により判断）
洗濯・業者	入室○	玄関先で対応 用件（修理・修繕等）により入室OK	玄関先で対応 用件（修理・修繕等緊急性のあるもの）により入室OK
行事	実施○	園内で実施○ 園外で実施（旅行車等送迎外出・買い物外出）○	園内で実施○
生活に関する事	実施○	短時間少人数で実施（店舗利用○） ドライブ○ 社内での飲食○ 敷設○	短時間少人数で実施（敷設○ 店舗利用○） ドライブ（人数制限し換気、消毒）○ ※多人数は不可

※このアラート表は対応する基準を明確にするために園で考えたものです。とくしまアラートの基準に準じて柔軟に改定を検討します。  
※アラート3の場合は状況を見ながら判断してまいります。

## まとめ

- ▶ 当園の課題であったゾーニングについて、助言を頂き、職員が共通理解をしてコロナ対策を考えることができた。
- ▶ 現場経験豊富なAWAナースの支援で、医療現場の現状が理解できた。また福祉現場の実情や障がい者についても知ってもらえた。
- ▶ 体調不良の訴えが明確でない利用者の、日々の観察の重要性について再確認できた。
- ▶ 職員の感染予防への意識について、一人でも意識できていないのは意味がないこと、職員の意識統一が重要であることが理解できた。
- ▶ 検討委員であらかじめ準備を進めてきたことの再確認ができた。
- ▶ 外部講師が入ってくることで、意識の向上が図れ、感染予防対策への広がりを見せた。

\* 今もなお、新型コロナウイルス感染症は収束するどころか、感染拡大しています。ゾーニングや感染対策をしているからと安心せず、感染に対する意識を高め、感染対策を徹底し、感染者を一人も出さないように取り組んでいきたい。



ご清聴ありがとうございました